

令和6年度 第2回総社公民館運営推進委員会
開催結果概要

全ての協議事項について、承認されました。
意見及び質疑応答の概要は以下のとおりです。

(A委員)

全体を通して、例年のように子育て、青少年活動を活発に行なっていて、非常に盛り上がりを見せていると感じられる。その他、公民館の多彩な活動もあり、総じて入場者が多く見られたと思われます。いい傾向でないかと感じている。

館の利用者が増えるということは、交流が増えるということで、今後さらに期待している。
多彩な活動に対して、敬意を表したいと思う。

(B委員)

すくすく教室が、昨年1歳未満児を対象としていたため、非常に申し込みが少なかった。そこで、いろいろ経験する中で、7か月児であれば、託児としてみることもできるのではないかとということで、担当と相談して、託児の月齢を引き下げた経緯もあり、また、市内全域に声掛けしたところ、他地区からも申し込みもいただき、参加申し込みが増えた。

本件託児システムを保健推進員で実施しているのは、市内公民館でも少ないので、いい試みであると思われる。

(C委員)

先日、社会を明るくする運動研修会の中で、勝山小学校の校長先生がコミュニティスクールのことを話していましたが、コミュニティスクールとは、指定された学校なのかどうか、勝山小学校の校長に伺う。

(D委員)

学校評議員に代わるようなものとして、学校運営協議会を設置している学校がコミュニティスクールと呼んでいる。

最終的には全学校で設置することとなるが、勝山小学校は、今年度、総社地区では初めての設置で、令和7年度には、前橋市内全学校で設置することとなる。

内容としては、学校の運営及び学校自体を見ていただき、運営に対する意見をいただき、地域の協力を得ながら、地域学校協働活動として、一緒に地域の子どもたちを育てていくことを目的とする。

地域の行事、公民館でのサマーチャレンジ、ウインターチャレンジ等、学校で学べないことを地域で行っていただきともありがたいと思っている。

(C委員)

コミュニティスクールをもう少し、教育委員会でPRした方がいいと思う。

その言葉だけでは、意味がわかりづらいので。

(E委員)

食生活改善推進員は、国、県、市から減塩、郷土料理の普及活動の指示もあり、講座を開いても、いままでは、高齢の方の参加が多かった。

総社公民館は、いろいろな子育て親子支援を行っている中で、もちろんその講座には、若い人たちの参加が多く、子育て支援での料理教室を通して、若い人との交流、繋がりができたことは、非常に良かったと思われ、今年度の活動はとても充実していた。

(F委員)

公民館事業をみせていただき、赤ちゃんからお年寄りまでまんべんなく、公民館で発信してまとめたりしてとてもいいことであると感じている。子ども育成会も、機能していない地区もある中で、総社地区は、子ども育成会で、親と子供でのカレー作りを実施する等、すばらしいと感じている。

すすく教室では、民生児童委員が、独自に子育てサロンを第2、第4木曜日に開催しているので、対象者のお子さんがすくない中で、できれば、日程がかぶらないようお願いしたい。

(事務局)

次回からは、日程が重複しないよう調整します。

(G委員)

今年度は、5年ぶりに自主学習グループで日帰り研修旅行、秩父方面に企画したが、計画立案も忙しく、参加者数の確保、また、大型バスの用意等で大変苦労しました。令和7年度の研修旅行は、実施しないことになりましたが、総社公民館は、自主学習グループ登録が23団体と少ないため、研修会でも、文化祭でも、参加者が少ないと感じている。3人いれば、団体もつくれ、活動として登録できるので、皆さんも是非、活動される方がいれば、声がけをお願いします。元総社公民館は、33団体とのことです。

文化祭は、当日、衆議院議員選挙のため、他の公民館では中止のところもありましたが、総社歴史資料館で実施でき、投票の後に文化祭へも来ていただいた人もいたので、よかったと思われる。

(H委員)

先日の、社協の勉強会で、元総社公民館では、学校帰りの子どもたちの学習をみる、そのような場所があると聞いた。部屋を開放し、生徒に勉強する機会が与えられ、ある町の公民館でも、部屋の一部を開放していると聞いた。

地区の子どもたちが集まる場所はないので、そのような場所を増やすことも必要と考える。

また、少子化で、子どもが少ない中で、交流を図ることも必要と思われる。

(事務局)

総社公民館では、教育委員会が主催で、月曜日、木曜日に地域寺子屋として、場所を提供し、六中の生徒が勉強に来ている。